

令和元年度

特色ある公民館事業訪問

国見町伝統文化親子体験フェスタ

訪問日：令和元年11月24日（日）

場 所：国見町 観月台文化センター

内 容：茶道体験、食文化体験、和楽器体験、
神楽・舞踊体験、囲碁・将棋体験 等



「伝統文化と聞くと敷居が高いイメージがあり、人が集まるかどうか心配でした。」と、館長さんは笑顔で話します。でも、その笑顔が物語るように、会場には、町内外から来館した多くの人で賑わっていました。どのブースも、小さな子どもから年配の方まで、世代を超えた交流があり、とても楽しそうな雰囲気でした。

今回の伝統文化親子体験フェスタは、町内の文化関係団体の方々との協力を得て、各ブースでの体験活動が実施されています。「行政側から『こうしてください』とお願いをするのではなく、文化関係団体の方々の方がやりたいようにしてもらいました。内容も場所も自分たちで決めてもらいました。この企画を自分事として捉えて、運営してもらいたかったからです。それぞれの専門性をもった方が主体性をもって、力を結集すれば必ず成功すると思いました。」と、館長さんは振り返ります。

その言葉を裏付けるように、文化関係団体の方々も、どのブースでも、来館者の方々に説明をしたり、体験をさせたりと生き生きと動き回り、充実感いっぱいの表情をしていました。

ある文化関係団体の方々も「やって（この企画に協力をして）よかったと思います。自分たちの活動には、今まで気づかなかった価値があったと、改めて感じることができました。何でもないと思っているものが宝物になるんですね。」と、体験活動をしている親子を見て、嬉しそうに話していました。

企画側の文化関係団体の方々も、主体的に楽しく活動していると、来館者の方々の満足度も高まります。町内から参加したある保護者は、「このように素晴らしい伝統文化が国見町にもたくさんあることを再確認しました。親子そろってとてもいい経験になりました。」と感想を述べていました。

「伝統文化を体験すること自体が目的ではありません。伝統文化という“道具”を通して、ふるさとに対する愛着や誇り、主体性をもって生きていく態度、家族のふれあいなどにつなげていければいいと思っています。それらが融合して、最終的には、地域の活性化につながっていくからです。」と、館長さんは話を続けてくれました。その視線の向こうには、国見町の将来の姿が広がっていました。

